

本箱

本学の先生方が
執筆された新刊情報

山本 裕(経済学科教授)分担執筆
『満洲国以後 中国工業化の源流を考える』
名古屋大学出版会 2023年2月 5800円



大日本帝国統治時代の「満洲」から戦後の混乱と破壊を乗り越え、社会主義化の最前線にして最大の生産拠点へと成長を遂げた中国東北地方。その大都市の内外地で帝国の「遺産」が時代をこえて再編されるプロセスを、改革開放後の姿も視野に、実証しています。

四元 康祐(言語文化学科非常勤講師)著
『ダンテ、李白に会う
— 四元康祐訳訳集古典詩篇』
思潮社 2023年3月 2400円



リルケ、ディキンソン、ダンテ、杜甫、李白など……言語の壁を超えて詩を探る旅を導く一冊。古今東西の詩人たちの深層を手さぐりし、そのポーズを、思い切った跳躍で「今」の日本語に響かせる翻訳詩集です。

立田 ルミ(名誉教授)編・著
堀江 郁美(経営学科教授)、李 凱(経営学科准教授)著
『実践に役立つ情報処理
— 基礎から応用まで — 2023年度版』
日経BP 2023年3月 1900円



大学生向け情報処理の教科書です。パソコンやOfficeアプリケーションを授業課題や問題解決に、いかに活用するかという実践的な観点で解説。HTMLやCSSによるWebページ作成やプログラミングの基礎も学べます。

神馬 幸一(法律学科教授)分担執筆
『刑法各論判例インデックス(第2版)』
商事法務 2023年3月 3400円



刑法各論分野の理解に欠かせない判例の学習を助ける、コンパクトな解説書の第2版です。見開き2頁で重要判例の事実関係・法的争点を整理し、ビジュアル化しているため、刑法各論の入門から知識の整理・深化まで、多くの学習者のニーズに応えます。

山田 洋(法律学科教授)共著
『現代行政法入門(第5版)』
有斐閣 2023年3月 2700円



行政法学習における基本事項を厳選し、明快かつ簡潔に解説する定番テキストの第5版。「コラム」「ケースの中で」「発展問題」などで、段階的・発展的な学習も可能です。前版刊行後の法改正等に対応したほか、新たな重要判例等も広くフォローしています。

安原 陽平(法律学科准教授)分担執筆
『現代教育法』
日本評論社 2023年3月 3000円



子どもの貧困や学校事故、学問の自由といった今日的課題を手がかりにアプローチする教育法学の意欲的教科書。教育や子どもの権利における危機的状況を、教育法に関連する様々な分野から分析。基本に立ち返って展望を示す一冊です。

木藤 茂(総合政策学科教授)分担執筆
『行政の実効性確保法制の整備に向けて
— 統一法典案策定の試み —』
民事法研究会 2023年3月 5800円



長らく整備が立ち遅れてきた行政の実効性確保をめぐる法制度について改革の具体像を提示する一冊。法制的検討を加えた要綱案とその解説のほか、科研究費プロジェクト参加メンバーによる諸論稿を収録しています。

白川 貴子(交流文化学科非常勤講師)訳
(イバン・レビラ 著)
『深い穴に落ちてしまった』
東京創元社 2023年4月 700円



森の奥で深い穴に落ちたある兄弟。彼らは木の根や虫を食べつつ、地上を思い生き続ける。やがて弟は現実と幻想が渾然となった世界を見始め……素数のみの草番号や幻覚の中の暗号など、寓意に満ちた驚愕と感動の物語です。

網谷 壮介(法律学科准教授)分担執筆
『歴史を書くとはどういうことか
初期近代ヨーロッパの歴史叙述』
勁草書房 2023年6月 4500円



19世紀に誕生する実証主義的な歴史学以前、初期近代のヨーロッパにおいて歴史を書くことはどんな意味を持ったのでしょうか。モンテスキューやルソー、アメリカ建国の父ら、思想家の歴史叙述に着目した論文集です。

獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

全学ライトダウンプロジェクト実施中! 省エネ・省CO₂にご協力ください。

獨協大学では、省エネ・省CO₂への取組として、ライトダウンプロジェクトを実施しています。昨年12月1日より、授業期間中の平日昼休みに、学生団体「ライトダウン実行委員会」がA棟、E棟、W棟を見回りして、教室の電気を消して節電を呼びかけています。また、廊下などの共用部も消灯しています。

2022年度の実測に基づく予測では、授業期間中の平日昼休み時間にライトダウンを実施することで、年間8t-CO₂(約50万円)の省CO₂が実現できます。教室を利用する学生の皆さん、教職員の皆さんは、授業終了後および昼休み時間のライトダウンと、適切なエアコンの使用をお願いします。

ライトダウン実行委員会 & Earth Week Dokkyo実行委員会 後援: 省エネルギー推進に関する専門部会



読者アンケートにご協力ください

獨協大学ニュースでは、学生や保証人の方々が必要な情報、読みたいコンテンツを発信していきたいと考えています。今後の企画や掲載内容の参考にさせていただきますので、ぜひ読者アンケートにご協力ください。



2022年度

教育環境改善のための取り組みについて

獨協大学では、教育環境改善のために毎年「学生による教育環境改善のためのアンケート」を実施しています。2022年度教育環境改善の取り組みおよび2022年度末に実施したアンケート結果についてご報告いたします。

【2022年度教育環境改善の取り組み】

■ 授業関連施設

- ・天野貞祐記念館4階教室と5階の共用部分、国際交流センターの空調更新を実施しました。これにより、快適性の向上と、更なるCO₂の削減が可能となるものと考えています。
- ・図書館については、感染予防対策の特別ルールのもと、8月より、共同学習室・グループ利用席・図書館情報セミナー利用席の利用を再開しました。
- ・ICZ(International Communication Zone)では、入口にイベント情報を提供するデジタルサイネージを設置しました。また、言語圏をより意識できるように装飾を整えました。

■ 学生生活施設

- ・2022年6月に実施した「ランチタイム充実に向けてのアンケート」の結果を踏まえ、秋学期から学生センター「スタイルカフェ・スタンド」でパンやお菓子の販売、西棟1階ロビーで弁当販売を始めました。
- ・学生食堂では、秋学期から麺類の販売を再開するとともに、防災カレーやクレープなどの特別メニューの日を設けたり、化粧品サンプル配布などのイベントを行ったりしました。2023年度もメニューの充実とともに、楽しいイベントの実施を計画しています。
- ・Twitter「獨協キャンパスグルメ」で、学生食堂の月間メニューやイベントの紹介、キッチンカーのおすすめメニューや臨時休業のお知らせを行っています。ぜひフォローをお願いします。
- ・獨協大生対象の安全性の高いアルバイトをネット上で紹介するサービスを始めました。利用希望者は、大学HP(「学生生活」>「アルバイトの紹介」)を確認し、事前登録をしてください。
- ・学生センターでは、6部屋のスタジオを稼働させました。

【2022年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」】

■ 実施概要

7,829名(学部生、大学院生、聴講生など)を対象にPorTaIIで実施しました。回答率は約6.2%で486名から回答いただきました。

■ アンケート結果概要

各設問に対する回答者全体の満足度の結果は、**グラフ**の通りです。

結果については、獨協大学HP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご覧ください。
<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>

